

滋賀・きたかたなか北方田中遺跡

- 1 所在地 滋賀県坂田郡山^{さんとう}東町北方
- 2 調査期間 一九八四年(昭五九)九月～一月
- 3 発掘機関 滋賀県教育委員会・^勅滋賀県文化財保護協会
- 4 調査担当者 兼康保明・奈良俊哉
- 5 遺跡の種類 集落跡
- 6 遺跡の年代 平安時代初頭～鎌倉時代
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要



る小さな平地と丘陵よりなる現になる横山連山のほぼ中央の東側に位置している。一九八四年に当地域で県営ほ場整備事業が実施されることから、同年九月より試掘調査を行った。その結果、遺構の存在が確認されたために、引き続き発掘調査を実施した。

この付近には、前方後円

今回の調査の結果、平安時代初頭～鎌倉時代までの掘立柱建物が数十棟・南北方向の溝一条・四脚門跡・井戸三基・道路状遺構一条などが検出された。これらの遺構の中で、木簡は遺跡の北にある鎌倉時代（一三世紀）の井戸の中より出土した。

8 木簡の釈文・内容

「水水水
水水水
水水水
水水水
水水水」

(225) × 33 × 3 059

三行各行六文字、計一八文字の「水」の字と、「急々如律令」の文とを組み合せていることや、井戸の最下層から出土したことなどから、井戸の水がすばやく満つるようにと祈願する意味をもつ呪符木簡とも考えられる。

（奈良俊哉）